

島田市長 染谷絹代 様

島田市新庁舎整備に関する提言書

平成 30 年 10 月

島田市議会



## II. 提言事項

- 1 新庁舎は、世代を問わず多くの市民が訪れやすく相互の交流が生まれる場となるよう計画すべきである。
- 2 新庁舎は、災害発生時には対応拠点となり、かつ減災に十分配慮した空間と機能を確保し、平時には市民が交流するエリアとなるなど有効活用を考慮し計画すべきである。
- 3 新庁舎は、市民にとって利用しやすく分かりやすい窓口配置と、職員にとって働きやすい仕事効率を考慮に入れた部署配置で、かつ庁舎内はICT環境と活動スペースの充実が望ましい。さらに構造については修正やメンテナンスがしやすく、省エネルギーへの取り組みも考慮しコストパフォーマンスに優れたつくりとなる、実用性を重視した施設整備計画とするべきである。
- 4 将来の市勢を考慮し、良好な財政バランスに配慮した施設整備を計画すべきである。そのために当市として自主財源増の施策を進める努力、官民連携の導入による財政負担の軽減の検討を行うことなどをはじめとする諸検討事項について、十分な意見交換や議論を深めた後に進めるべきである。
- 5 二元代表制の一翼を担う議会が十分活動でき、広く市民が傍聴しやすい議場を有するなど、議会活動に関わる施設整備は議会運営に支障が出ないよう議会との意見交換をもって進めるべきである。